

オオカマキリ



浅井にて

(撮影：桐原佳介)

皆さんご存知の身近な昆虫、カマキリ。この浅井の林道で出会ったカマキリは、オオカマキリのメスでした。彼女は産卵を終えた後らしく、お腹がべったんこで、ふらふらしながら林道を横断していました。しかし、私たちに気づいたとたんに、果敢にもフアイティングポーズをとったのです。彼女は必死だったのでしょうか、私たちは大喜び。写真は何枚も撮らせてもらいました。その後彼女は、またとほとほと林道に向かって歩いて行きました。時々振り返りながら去って行く彼女の仕草は、あまりにも人間くさくて「まったく、迷惑ね!」と言っているようでした。

昨年、私は自宅庭で見つけたカマキリたちに印をつけました。カマキリの成虫を捕まえたら、翅にアルファベットの通し番号と電話番号を油性ペンで書き、写真を撮ってから捕まえた場所に逃がしたのです。その結果、合計21匹5種類のカマキリたちに出会い、そのうち5匹がオオカマキリでした。そして、カマキリの成虫を最初に見つけたのは9月8日、最後に姿を見た日

は随分寒くなつてからの12月19日でした。

私は、何度聞いてもカマキリとオオカマキリの違いが覚えられません。名前からオオカマキリの方が大きいと思いますが、例外もあります。大きな違いは、後翅の色とカマの付け根の色です。オオカマキリの後翅は、写真のように濃い褐色ですが、カマキリの後翅は透明な部分が多く薄い褐色です。そして、カマの付け根の色は、オオカマキリが黄色でカマキリがオレンジ色です。しかし、私はこの違いが頭の中でなかなか整理できず、いつも野外で「あら？あなたはオオカマさん？ただカマさん？」と迷っています。

今年、日本初の「カマキリの全国調査」が行われています。詳しいことはインターネット上で「自然しらべ2008公式サイト(<http://naturekids.go.ne.jp/>)」に紹介されています。みなさんのお庭にはどんなカマさんが住んでいるか、この秋カマキリ探しをしてみませんか？

自然観察指導員 桐原真希